

第4章 道路敷地図

4-1 目的

道路敷地図は、道路沿線の土地所有者並びに、その境界を明確にして、道路管理上最も重要である道路境界の管理を円滑に行うための重要な資料とすることを目的とする。

また、道路境界確定における検討資料として使用する。

図式等については「本要領（案）7-2_図式規程」を準用する。

4-2 作業項目

- ・ 境界線または区域線の記入
- ・ 境界標間の距離の記入
- ・ 境界標の番号の記入

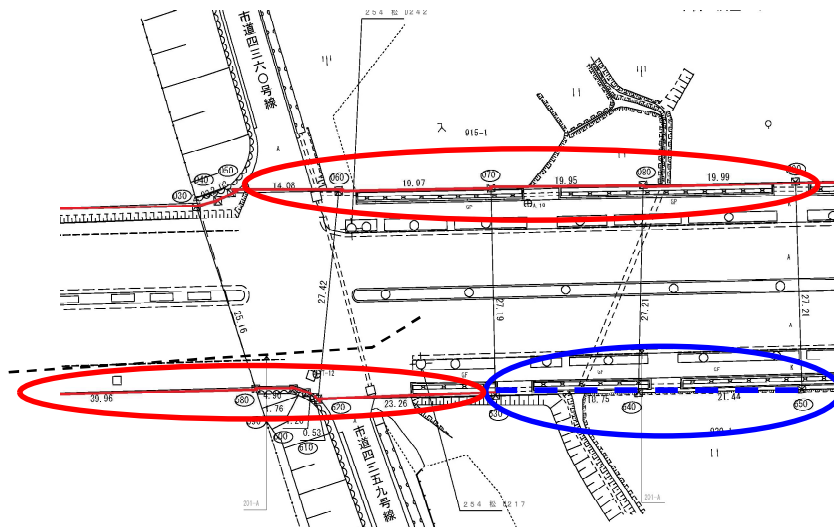
4-3 作業細目

4-3-1 境界線または区域線の記入

道路管理者と他者の用地境界線のうち、敷地調査等により他者との境界確認で承諾を得た箇所については、赤色の実線により線データを作成する。

なお、用地境界の承諾が得られていない箇所については、破線表示により線データを作成する。

<作図例>



道路敷地図

- ※赤色の囲み箇所　：　確定境界線
- ※青色の囲み箇所　：　不調境界線

4-3-2 境界標間の距離の記入

境界点間の寸法についてはメートル単位とし小数点第2位（小数点第3位を切り捨て）まで表示する。隣接境界との距離を記入し、一点以上のたすき掛けを行う。

4-3-3 境界標の番号の記入

境界標番号を入力する。図面上部左側より10番単位で010から図面右方向に既設表中に番号をつける。

図面下部左側より10番単位で510から図面右方向に既設表中に番号をつける。
不調点においては計算点としカッコで（060）記載すること。

4-4 成果品

- | | |
|------------------------|----|
| ① 道路敷地図（数値地形図データ） | 一式 |
| ② 道路台帳図チェックシステムによる点検結果 | 一式 |
| ③ 検査用出力図（点検資料） | 一式 |